



サッカーワールドカップから学ぶこと

今、サッカーワールドカップで盛り上がっていますが、日本代表の様子やサポーターの様子を見て、皆さんと共有したいことが3つありました。

1 つめは、失点した後の日本選手の様子です。得点した後の様子はよく映されますが、失点した後に何をしていたか。答えは、チームで集まってどこにミスがあったのか、次どのように進めていくか話し合っていました。新聞記事では、「34歳のベテランDF谷口彰悟選手は「連続失点を一番、やってはいけないと理解している。失点してしまった時には、みんなで考え方を合わせて、どうするのか話し合おうというのは大会前から決めていたこと。」と掲載されていました。恒に考えて行動する。うまくいかなければまた次の方法を考えて行動する。これって、日々の生活からそういったことを実践できることではないでしょうか。サッカーだけでなく、人が成長していく上で、特にこれからの社会で生きていく上では必要なことだと思います。

2 つめは、日本チームが去った後のロッカールームの様子です。次のチームのため、きれいにし、タオルまでたたんで帰って行ったそうです。プロの、しかも一流の選手は、次に使う相手のことまでしっかり考えることができる人なんだと思いました。海外のSNSで「オランダとの引き分けの後、日本代表チームは試合終了後のホイッスル後に起こった出来事で再び注目を集めました。チームはロッカールームをピカピカに保ち、ピッチ外での清潔さ、規律、敬意を重視する姿勢で称賛されてきたワールドカップの傾向を続けています」と掲載されていました。私たちも普段から次の人のためにということで、トイレのスリッパを並べるなどの積み重ねが、普通にそういった考えができる人になっていくのではないかと思います。

3 つめは、サポーターのゴミ拾いの様子です。自分たちで出したゴミは自分たちで！掃除をする習慣が日本のサポーターをそうさせるのかもしれませんが。世界でも賞賛されていますね。しかし、今回は面白い記事を見つけました。「公の場では自分たちのごみを片付ける男性たちが、家庭ではその負担を妻に押し付けているのではないか、という見方だ。」目立つところではがんばるが、見てないところではどうなのでしょう？人が見ていようが見ていなかろうが、今何をすべきかを考えて行動することが大切だと思います。

ワールドカップサッカー1つを例にとっても、考えて行動する大切さや、相手のことを考えて行動に移す大切さを学ぶことができます。ぜひ、子どもたちの好きなことから何か学ぶことを見つけてみませんか。それを見つけ、考え、行動できたらおもいきり褒めていきましょう！！

〈7月の予定〉

6日(月) 浜ナイス③
7日(火)～10日(金)
個人懇談会 4校時まで
7日(火) 6年味覚の授業
9日(木) ペア活動③
10日(金) 5年モアレ検診
13日(月) スクールカウンセラー相談日
14日(火) 6年租税教室

※ 状況により予定が変更することもあります。ご了承ください。

16日(木) 給食終了
17日(金) 1学期終業式
一斉下校 11:30
前年度卒業生 卒業アルバム等配布日
18日(土)～ 夏季休業日
～8月26日(水)



〈今後の予定〉

8月27日(木) 2学期始業式	9月 4日(金) 参観懇談(低)
9月 1日(火) 給食開始 委員会	9月 7日(月)～11日(金) 5年自然学校
9月 3日(木) 参観懇談(高)	9月15日(火)～16日(水) 6年修学旅行

〈遅刻や欠席の連絡について〉

何度かお知らせしておりますが、遅刻や欠席の際は、ミマモルメの欠席連絡サービスのご利用をお願いいたします。

児童の安全確認のためにも、ご連絡を何卒よろしくお願い申し上げます。



〈水分補給をお願いします〉

暑い日が続くようになってきました。子どもたちに、毎日水筒を持たせていただき、適宜水分補給ができるようによろしく願いいたします。

ミマモルメ欠席連絡 QR コード

〈緑の募金へのご協力ありがとうございました〉

今回、緑の募金で皆様より5,149円のご協力をいただきました。この募金によって集められたお金は、私たちの町や公園の緑化や整備等に使われます。ご協力をありがとうございました。